

【教育目標】

- よく考え、最後までやりぬく子(知育)
- 思いやりがあり、助け合う子(徳育)
- 進んで体をきたえる子(体育)

【めざす学校像】

児童や教職員、一人一人が持つ良
さや強みが発揮できる学校
～6年生がお手本となる学校～

～ようこそ先輩～

去る2月16日に西原中学校生徒会6名を本校にお招きし、6年生にむけて中学校生活について、中学校生活の基本(1日の流れ、授業、休み時間、清掃、部活動等)・中学校で守るべきこと(時間、持ち物、挨拶、ルール・マナー等)・中学校の取組活動(生徒会活動、行事、委員会活動等)話をしてもらいました。

説明の後に西原中学校のことについてクイズ形式で問題を作ってくれていたのが大盛り上がりでした。「朝は8時15分までに登校する」「授業が50分間になる」「期末テストがある」「部活は15種類、委員会は8種類」等々小学校との違いに6年生も一喜一憂な様子でした。また、中学生になるまでに勉強の基礎を固めた方がいい」「制服の着方、身だしなみをしっかり整えなければ生徒指導にかかる」等のアドバイスももらうことができました。先輩方のおかげで中学校生活への期待をさらに膨らませた子も増えたことと思います。6年生みんなの中学校での活躍を期待しています。



学校だより

「はんだますい」

開き・関わり・育む

第21号
(R8.3.2)

坂田小学校
校長 金城美奈子



ドリームスクール ～夢をつかむためのメッセージ～



2月7日(土)、本校では「ドリームスクール」と題し、多くの保護者や地域の皆様を講師としてお招きし、全学級で講話を行っていただきました。子どもたちは、普段なかなか聞くことのできない多様な職業の話に触れ、社会には実に多くの役割や働き方があることを知る貴重な機会となりました。講話では、仕事の内容だけでなく、働く意義やそこに込められた思い、努力を続けるうえで大切にしていることなど、講師の皆様からの温かいメッセージが数多く届けられました。「学ぶことが将来の自分をつくることにつながる」という言葉や、「夢を叶えるためには支えてくれる人への感謝を忘れないこと」「自分の興味や好きなことから一步を踏み出すことが大切」というお話に、子どもたちは深くうなずきながら耳を傾けていました。また、夢は突然見つかるものではなく、日々の経験や挑戦を積み重ねる中で育っていくことも学びました。講話後の振り返りでは、「もっと学びたいことが見えてきた」「自分の将来について考えるきっかけになった」といった声が多く聞かれ、子どもたち一人ひとりが自分の未来を思い描く姿が印象的でした。今回のドリームスクールは、地域と学校がつながり、子どもたちの成長を共に支える時間となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

